



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館年報
Issue Date	2021-08
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/85368
Type	journal
File Information	nenpo2021.pdf



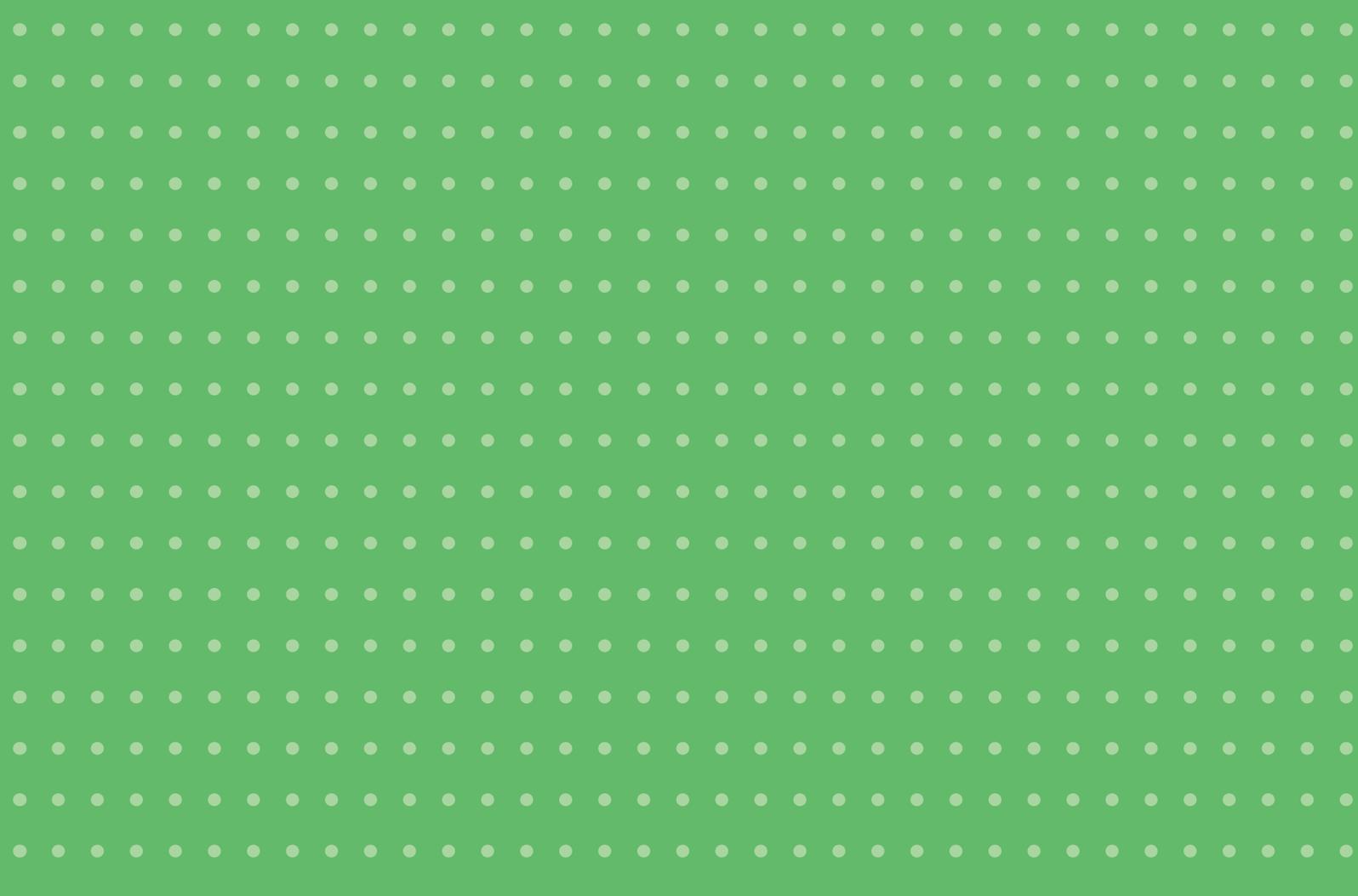
北海道
大 学

附 属

函 書 館

年 報 2021

Hokkaido University Library
Annual Report



Contents

館長巻頭言	1
令和2年度 Topics	
1. 教育学習支援	2
2. 研究支援	6
3. 社会貢献と国際化	9
4. その他	13
5. 新型コロナウイルスへの対応	14
令和3年度重点項目	16
連携事業	18
ガイダンス・講習会	19
活動日誌	20
学外講師派遣等	23
統計	24
図書館委員会名簿	28
組織図	29

北海道大学附属図書館のミッション

附属図書館は、北海道大学の4つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。その実現のために、以下の目標掲げる。

教育学習支援

豊かな情報資源と快適かつ刺激的な学習空間を提供し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

研究支援

世界水準の研究を推進するため、本学の研究者が必要とする情報資源を持続的に利用できる環境を整備する。また、本学の研究成果の保存と発信に責任を負う。

社会貢献と国際化

北海道地区における唯一の総合大学の図書館として、他図書館に対する支援を行い、地域住民の生涯学習を支援する。また、海外の大学図書館と協力関係を構築し、交流を推進する。

組織運営

学生、教職員及び研究者と連携・協働し、大学における教育研究支援機能を強化する組織づくりを目指す。図書館職員は図書館や学術情報流通に関する専門性に加え、大学を取り巻く社会の環境変化に対応できる専門性を磨く。

附属図書館年報 2021 年版の 刊行に当たって

「附属図書館年報」は、附属図書館全体の概要紹介と活動の詳細な記録を報告するために、2014年から刊行を始め、本号で第8号となります。本年報は1年前の活動の記録を報告するもので、本号は2020年度の活動を報告しています。

この2020年という年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延によって、歴史の年表に記される年になると思います。附属図書館では、2020年9月、「附属図書館年報2020 別冊 新型コロナウイルス対応の記録：2月～7月」を刊行し、2020年2月28日（金）の北海道非常事態宣言から、7月14日（火）に学内構成員の利用を再開するまで、約5か月間の活動を詳細に記録しています。新型コロナウイルスによって、これまで長い間図書館が実施してきた各種サービスをほぼ全て見直す必要に迫られ、同時にまた図書館職員の働き方、さらには図書館業務のあり方を見直すことも必要になりました。しかし図書館職員の皆さんのたゆみない努力と創意工夫、さらには学内構成員の皆さんのご協力によって、図書館はこのコロナ禍の中であって、その機能を果たし続けることができました。図書館職員の皆さんを始め、図書館の運営にご協力頂いている多くの皆さんに、この場を借りて御礼申し上げます。

しかしながらその一方で、今回の新型コロナウイルスへの対応の中で、今後の附属図書館が進むべき方向性について考えさせられたのも事実です。附属図書館の使命は、改めて言うまでもなく、学術情報基盤の中心をなす組織及び施設として、大学の教育・研究・社会貢献を支えるところにあります。その具体的なあり方は、時代や社会の要請に応じて変化するものだと思います。そうしますと、現在のコロナ禍の中で、さらにまたポストコロナの時代において、附属図書館はどのような役割を期待され、そしてそれをどのように担うのか。まだコロナ禍の出口も見えない状況にあります。視点を少し先において、引き続き考えていかなければならないと思います。

附属図書館では、2014年にミッションを次のように定めています。「附属図書館は、北海道大学の4つの基



附属図書館長

山本 文彦

本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する」。このミッションを実現するために、「教育学習支援」「研究支援」「社会貢献と国際化」「組織運営」の4つの目標を掲げています。昨年度、外部評価を実施し、5名の外部評価委員の先生方から、数多くのご意見を頂きました。その総評として次のような評価を頂きました。「全体的な印象としては、大学図書館にとって比重を増す「研究支援」に果敢に取り組んでおり、それに適した組織改編も実施済であることは国内で十分に先進的であり、他大学のモデルケースになるであろうと思われた。また、常勤職員数を確保できていることで職員同士の切磋琢磨、意識の高め合いが可能となっており、今後の大学図書館界を牽引する優れた人材を生む環境を構築できていることも評価したい。北海道大学は地域に深く関連した貴重資料も多く所蔵し、これらを活かすことでさらに大きな社会貢献に繋がることを期待される。今後は海外の基幹大学とも肩を並べる機能と意欲をもって各業務の改善及びサービスの向上に取り組むことを期待したい」。他方、個別な点については、さまざまな観点から改善が必要な点もご指摘頂いており、これらを重く受け止め、今後の活動に活かしていきたいと考えています。

本年報により、附属図書館が昨年度どのような活動を行ってきたのかをご理解頂くとともに、ポストコロナの時代に向けて新たな一歩を踏み出すために、引き続き皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

令和2年度 Topics

1 教育学習支援

A 学習支援

(1) アカデミックスキルセミナー

本学の進路・修学の相談対応や学生の主体的な学習を支援するラーニングサポート室と協働・企画運営し、学習・研究スキルに関するセミナーの開催や事業に協力した。

スタディ・スキルセミナー

学部学生1、2年次を主な対象として、大学での学修の基本となる「スタディ・スキル」を身につけるためのセミナーを春と秋に開催した。図書館では、春、秋ともに、全学教育科目で初年次学生を対象に実施している「図書館情報入門」の内容をベースにした「文献の探し方」を実施した。春は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため教材をオンラインで提供した。秋は、春に実施した内容にスマートフォンを使った実習を加え、北図書館で対面開催した。

2020年度 後期 アカデミックスキルセミナー
スタディ・スキルセミナー

■ 対面式セミナー

文献の探し方
レポート作成に必須の、北大における図書館の探し方をレクチャーします。今回は特に、スマホを使った検索も説明します！
講師：図書館スタッフ

■ 開催場所
北図書館西棟2階・セミナールーム **予約不要**

■ 日程 ※内容は3日とも同じです。各回定員23名 **直接お越しください！**

日にち	時間
10/20 (火)	12:15-12:45 (お昼休み)
10/22 (木)	12:15-12:45 (お昼休み)
10/23 (金)	12:15-12:45 (お昼休み)

■ 問い合わせ先: 附属図書館学習支援企画担当
電話 011-706-5593 / メール nref@lib.hokudai.ac.jp

■ オンデマンドコンテンツ

理系専門書の読み方
自習やオンライン授業で役立つポイントを動画で解説！
(※要ELMSアカウント)

オンライン授業でのプレゼン
10/19(月)公開予定！ URL: <https://bit.ly/LSOmaterial>
※「実験レポートの書き方」など1学期から公開継続中のももあります 作成：ラーニングサポート室

全般的な問い合わせ: ラーニングサポート室
高等教育推進棟E211 (オフィス) / E210 (学習サポート室)
電話 011-706-7526 メール iso@high.hokudai.ac.jp

アカデミックスキルセミナーについて詳しくは下記URLまたは上の二次元QRコードにアクセスしてください
<https://www.lib.hokudai.ac.jp/?p=83773>

ポスター

(2) めざせ100万語！英語多読マラソン

1) 全学教育科目英語授業でのエクリーの活用

今年度の英語多読マラソン新規参加者は328名、累計参加者は2,148名となった。

また、メディア・コミュニケーション研究院の浜井祐三子教授、原田真見准教授の協力により、英語多読マラソンシステム「エクリー」が、全学教育科目の英語授業で活用された。

めざせ100万語！
英語多読マラソン
ENGLISH TADOKU MARATHON

英語って楽しい！！

HOW TO START 多読マラソン 多読とは、読んで楽しむこと。多読は、英語の勉強法として、最も効果的な方法です。多読は、英語の勉強法として、最も効果的な方法です。多読は、英語の勉強法として、最も効果的な方法です。

100万語達成！
達成感を味わおう！
個人だけの時間をエクリーに活用しよう！
英語多読マラソンを始めるのよ！
まずはエクリー！

エクリーで多読がもっと楽しく！

本館 北図書館 水産学部 自宅でも

4階 英語多読教材コーナー
西棟3階 英語多読教材コーナー
2階 英語多読教材コーナー

電子ブック

！英語多読教材のあるところ！
教職エントリー受付中！

北海道大学附属図書館 英語多読マラソン 検索

イベント情報やお知らせはLINE@ / Facebookでチェック！

「めざせ100万語！英語多読マラソン」案内チラシ

2) 英語多読用電子ブックの拡充

新型コロナウイルス感染症の影響で学生の登校が制限されたこともあり、学生の自宅での英語多読学習を支援するため、英語多読用電子ブックの拡充を行い、利用可能な英語多読用電子ブックが昨年度から489冊増加し、計1,433冊となった。

また、英語多読用電子ブックのURLのQRコードを掲載したチラシを配布し、スマートフォン等から容易にアクセスできるように配慮した。さらに、Web本棚サービス「ブクログ」に登録した英語多読用電子ブックのデータを、総語数や難易度から検索できるように整備し、資料選択時の利便性を向上させた。

(3) 「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気ができる！おすすめ本～」展示

3月27日(金)～8月28日(金)、北図書館で新入生向けに「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気ができる！おすすめ本～」展示を行った。北海道大学生協同組合(以下、「北大生協」)書籍部と連携して実施したもので、同じタイトルの本が北大生協では購入



展示の様子

でき、北図書館では借りることができるよう、同時期に開催した。アカデミックスキル（レポート・論文の書き方、プレゼンのしかた等）、ライフスキル&コミュニケーション、新生活応援、北海道関連の4つのテーマで、新生活のスタートを応援する図書を各会場で展開した。北大生協及び北図書館の広報ポスターやチラシ等もあわせて展示し、紹介した。

期間中、展示した271冊中237冊が貸し出され、貸出回数は延べ723回となった。

(4)「本は脳を育てる」特別展示



展示の様子

「本は脳を育てる」企画は、学生の知的基盤育成の支援を目的として、本学の教職員が、学生（特に新入生）に読んでほしい図書を推薦文と共にWebサイトで紹介するもので、平成17年から実施している。

その図書展示を12月1日（火）～1月24日（日）に

北図書館で開催した。「本は脳を育てる」のWebサイトで公開中の523点の資料のうち新着図書を中心に、学生の思考の土台となる教養・リベラルアーツの醸成に役立つと思われる資料69点を推薦文と共に展示した。そのうち55点が延べ173回貸し出され、展示スペースでは、推薦文をじっくりと読みながら本を選ぶ学生の姿が多数見られた。

(5)「全国読書マラソン・コメント大賞」展示



展示の様子

北大生協も加盟する全国大学生生活協同組合連合会では、大学生を対象に読書の感想を募る全国読書マラソン・コメント大賞を開催している。そこで北大生協と連携し、学生が多様な図書に触れる機会を設けることを目的として、9月15日（火）～10月30日（金）に本館と北図書館で図書展示を行った。

歴代（平成17年～令和元年）の受賞作のうち図書館に所蔵があるものを、本館50冊、北図書館132冊展示し、あわせて北大生協から提供された同大賞のポスターや冊子等も展示した。

本館では延べ85回、北図書館では延べ185回貸し出された他、展示スペースに設置した同大賞の応募箱には3件の応募が寄せられた。

(6)「学部選択参考図書展示」

9月1日（火）～10月26日（月）、北図書館で初年



展示の様子

次学生が移行先の学部を決定する際に参考となる情報を提供するため、「学部選択参考図書展示」を行った。これはラーニングサポート室と連携して実施したもので、共同で役立つ図書の選定を行った他、ラーニングサポート室作成のアカデミックマップの配布を行った。

期間中、展示した23冊中17冊が貸し出され、貸出回数は延べ37回となった。

(7) オンラインイベント「おうちで北図書館ガイダンス」



ポスター

第1学期の新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休館の影響で、図書館に不慣れな学生へのサポート及び利用促進を目的として、Zoomを利用した北図書館のオンラインガイダンスを実施した。9月29日(火)と

10月7日(水)の2日間、学生の昼休みに当たる12時15分～45分に開催した。

このガイダンスでは図書館の利用案内の他、申込時に学生が記入した「興味のある分野・今後勉強したいこと」にあわせた図書を紹介する「あなたの読みたい本を探します」のコーナーを設けた。案内した図書は、後日参加者にメールで送信し、図書館公式Twitterでも紹介した。

ガイダンスには延べ24名が参加し、アンケートでは「図書館の雰囲気がわかって良かった」「すこしでも大学のことが知れて良かった」「『あなたの読みたい本を探します』のコーナーは非常に良かった」という感想があった。

B | 情報リテラシー教育

(1) 図書館情報入門

「図書館情報入門」は、初年次学生を対象にレポートや論文作成に必要な学術文献の効率的な検索方法の習得を目的に実施している。全学教育科目の「一般教育演習(フレッシュマンセミナー)」及び「主題別科目(論文指導)」の授業内で希望する教員の1コマ(90分)を利用して、第1学期はオンライン教材、第2学期はオンライン教材と対面形式を教員が選択する形で実施した。

実施後のアンケートでは、「満足」と答えた学生が対面形式85.4%、オンラインで77.9%となっており、「満足」「どちらかといえば満足」をあわせるといずれも100%となった。

(2) 文献収集セミナー

1) これから研究を始める人のための文献の収集と管理のセミナー【文献収集セミナー 文系編】

これから本格的に論文を執筆する文系の学部学生3年次から修士1年次を主な対象に、網羅的かつ効率的な文献収集スキルの向上を目的に開催した。「国内文献の検索と入手方法(基礎編)」と「海外文献の検索と入手方法(応用編)」を春と秋あわせて8回実施し、計86名が参加した。

2) 基礎からおさえる! 法情報の探し方

【文献収集セミナー 法学編】

法学研究科法学政治学資料センターと連携し、図書館

と法学政治学資料センターで所蔵している法学関連の図書や雑誌の網羅的な探し方や法学情報収集の基礎を身につけることを目的として開催した。例年より遅くなったが、対面式で夏と冬あわせて4回実施し、計12名が参加した。

(3) 国際機関情報の探し方セミナー

国連寄託図書館・EU情報センターとして国際情報の入手方法についてわかりやすく解説し、グローバルな課題に対する情報収集スキルを高めることを目的として開催した。11月16日(月)に「国連編・EU編・OECD編」を対面式で開催し各編とも5名ずつ計15名が参加した。

(4) 各種データベース講習会

研究や学習、就職活動等に幅広く役立ててもらうことを目的として、本学が契約する学術文献データベースや文献管理ソフトの利用講習会を専門の外部インストラクターとの協働により開催した。「EBSCOhost」「Web of Science」「日経テレコン」「Mendeley」等に加え、「SciFinder-n」「Reaxys」「eol」といった分野に特化したデータベース等も含め、本館、北図書館や部局での対面形式に加え、オンライン形式を合わせて合計14回開催した。

(5) オーダーメイド講習会

教員からの依頼による「オーダーメイド講習会」は、個別の授業やゼミへの支援を目的とするオリジナル型の講習会で、教員と図書館職員とで内容を相談しながら実施している。部局図書室の独自の分野に特化した内容の講習会も増えており、文献管理ツールの使い方に重点をおくケースや書庫ガイダンスを実施する等、単なる文献の収集方法に留まらない多様な形態で、オンラインもしくは対面により計18回実施した。

C | 学生と協力した図書館づくり

北海道大学ハルトプライズ×北図書館連携展示

10月7日(水)～11月30日(月)、学生団体「北海道大学ハルトプライズ」が主催するイベントと連動して、同団体と協働した展示を北図書館で開催した。ビジネス



展示の様子

的思考法やパブリックスピーキング、グループワーキングスキルといった、ハルトプライズの活動に求められるテーマの資料40冊を、学生のおすすめコメントと共に展示した。

D | 学内ワークスタディ

ワークスタディとして学生42名(本館35名、北図書館7名)を雇用した。

コロナ禍により当初予定した業務を全て実施することはできなかったが、感染防止対策を十分に施したうえで、配架作業等、定常業務の一部を担当させた。これにより、職員が利用者対応等の業務を重点的に行うことができ、図書館を円滑に運営することができた。

その他、東洋史研究を専門とする大学院生を雇用し、ペルシャ語資料の整理を進めることができた。

E | 障がいのある学生への支援

「プリント・ディスプレイのある利用者のための資料電子化サービス」が、本格実施へと移行して5年目となった。これは印刷された図書や論文を読むことが困難な利用者のために図書館の資料を電子化するサービスであり、本学学生相談総合センターアクセシビリティ支援室と協働して行っている。登録利用者である学生からの依頼(81件)に対して、電子化業務のピアサポーター



電子化データ作成の様子

(支援学生) 6名が主体となり、31件の資料を電子化し提供した。

なお、新型コロナウイルス感染症対応のため、支援学生の電子化業務は4月及び9月から12月の5か月のみとなった。

この他、電子化の申込方法等について、アクセシビリティ支援室とともに見直し、電子化の案内チラシやWebページの改訂を行った。

また、全学教育科目「健康と社会」(講義題目：キャンパス・アクセシビリティ入門)において、電子化の法的な知識についての講義と実習を2名の職員が担当した。同時に「カラーユニバーサルデザイン」についても講義を行った。今回で4年目となるこれらの講義は、新規支援学生の養成が目的の1つである。

加えて、3月からアクセシビリティ支援室と連携し、電子化以外の業務に従事する支援学生の中から電子化業務希望者を対象とした「文献電子化養成のオンライン講座」を開始し、リクルート強化を図った。事前に準備した動画を使用することで、必要に応じ随時開催することができるようになった。

今後も電子化データの全国共同利用体制への参加を含め、他大学・他機関と情報交換及び情報共有をして問題解決を図り、よりよいサービスの提供を目指すこととしている。

2 研究支援

A 研究者向け講習会の実施

(1) 英語論文執筆セミナー

昨年度に引き続き、本学の国際化及び教育改革に対する取組みへの支援(「スーパーグローバル大学創生支援事業」)を受け、英語論文執筆を学ぶセミナー「基礎編」を2月22日(月)に、「応用編」を3月2日(火)にオンラインで開催した。昨年度までの「基礎編」に加えて「応用編」も初開催し、英語論文の構成から各項目の書き方、日本人英語の欠点や改善策(脱日本的発想)にはじまり、鉄則やテクニックまで、英語論文の添削や学術論文指導等の経験豊富な講師が日本語で分かりやすく解説した。これから英語論文を執筆する大学院生を中心に文系・理系を問わず「基礎編」「応用編」それぞれ45名、25名のオンライン参加があり、またそれぞれ500名、490名への録画配信を行った。

ネイティブスピーカーに評価される論文執筆のポイントや日本人英語の欠点や改善策(脱日本的発想)について、英語論文添削および学術論文指導のほか、執筆活動も経験豊富な講師が、日本語で分かりやすく解説します。文系、理系を問わず役に立つ内容です。

2021
基礎編 2/22 月 10:30~16:15

第1 講義 論文査読報告と英語論文の特徴
第2 講義 英語論文執筆の鉄則と明確に書くテクニック
第3 講義 英文を書く時の文法事項

2021
応用編 3/2 火 10:30~16:15

第1 講義 読みやすい英語(論文)の書き方
第2 講義 英語論文の構成項目と書き方
第3 講義 論文執筆で注意すべき文法事項、論文投稿

講師 小野 雅浩 氏
理化学研究所 専員 主任研究員
1977年東京大学理学部大学院修士課程修了、理学博士
2014年現在より現職
著書に『ポイントで学ぶ24学術論文の書き方』(2017年)ほか多数

対象 本学研成員

当日定員 リアルタイム受講・見逃し総計 60名
見逃し配信のみ 420名
(いずれも事前申込が必要)

詳細、お申し込みは
図書館ホームページをご覧ください
<https://www.lib.hokudai.ac.jp/?p=87144>

お問合せ：附属図書館利用支援課 学習支援企画担当
TEL: 011-706-5593 E-mail: nref@lib.hokudai.ac.jp

英語論文の書き方
オンライン
セミナー

ポスター

(2) Important Points for Journal Submission

主に外国籍の大学院生を対象に、英文校正会社の講師

が英語論文の執筆・投稿に係るポイント等を英語で解説するセミナーである。12月8日（火）に Basic 編、Intermediate 編の2つに分けて Zoom ウェビナーで実施し、他大学の学生等を含め、それぞれ約 100 名が参加した。

本セミナーは人材育成本部 I-HoP の企画・主催で毎年実施しているもので、図書館は広報活動に協力するとともに、「英語論文執筆に役立つ図書リスト」の作成と配布を行った。

(3) 部局で開催した講習会

研究をめぐる様々な評価指標：ビブリオメトリクスとオルトメトリクス（歯学部図書室）

研究をめぐる様々な評価指標の特徴とその算出方法、海外大学での利用例、業績分析ツール InCites（インサイト）に基づいた Top10% 論文や国際共著論文の調べ方を紹介するものである。コロナ禍のため、オンライン同時配信＋オンデマンドで実施した。14 名がオンラインで参加し、資料は 165 回ダウンロードされた（11 月～2 月）（オンデマンド）。

受講した教員からは「これまで Citation Index や JIF 等しか知らなかったが、こうしたデータベースを使ってみるよい機会になり、有意義だった」「オンライン開催はありがたい」との感想があった。

オンライン・オンデマンド・セミナー 医系グループ 歯学部図書室

研究をめぐる様々な評価指標 ～ビブリオメトリクスとオルトメトリクス～

ジャーナル・インパクト・ファクターや被引用数はよく知られた指標ですが、近年、様々な指標が開発されています。またソーシャルメディアを活用するオルトメトリクスも注目を集めています。

本セミナーでは、以下についてご確認頂きます。

- ・おもな評価指標の特徴とその算出方法
- ・海外大学での用いられ方の例
- ・業績分析ツール・InCites（インサイト）に基づいた、Top10%論文や国際共著論文などの調べ方

【取り上げる項目】

h-index, Category-Normalized Citation Impact (CNCI), SJR, SNIP, アイゲンファクター, ORCID, FWCI, オルトメトリックドーナツ, Plum X など

- とき ご希望の日時(平日の閉館時間中) 通年開催
- ところ オンラインでの開催(所要時間20分程度)
- 資料 資料のみのご利用も可能です。ご希望の方はお知らせください。受講の有無に関わらず、どなたでもお読み頂けます(学内者)
 - ・PDFファイル→URL等をお知らせします。
 - ・紙媒体→図書室にございます。
- 対象 歯学部関係者の方(お一人から受講可能。受講者数の上限はありません)
- 申込み 受講ご希望の方は、メール・電話でご希望の時間帯をお知らせください。受講方法についても、詳しくご案内いたします。 歯学部図書室

Mail: den @ lib.hokudai.ac.jp TEL. 011-706-4209

ポスター

講習会の資料は HUSCAP にて公開した (<http://hdl.handle.net/2115/79740>)。

B | 文献検索相談・代行サービス

「文献検索相談・代行サービス」は、本学の医系研究者を対象に、研究テーマに応じた先行研究調査を代行する人的支援サービスである。

テーマやキーワードについて研究者と打合せの上、図書館職員が検索戦略を立てて国内外の文献データベースを検索し、調査結果を共有する。また、データベースの利用方法、文献管理や入手方法のアドバイスにも対応する。

平成 28 年 7 月のサービス開始以来、特に診療ガイドライン (GL) やシステマティックレビュー (SR) 作成のための網羅的な文献調査を必要とする研究者から依頼を受け、支援を行ってきた。直近の成果としては、文献検索を担当した図書館職員が共著者となった SR¹ が国際誌に掲載された。

本サービスの需要は年々高まっており、今年度は前年の 3 倍を超える計 17 件の申込みがあった。所属部局の内訳は、医学研究院 4 件、保健科学研究院 6 件、歯学研究院 4 件、附属病院 3 件であった。支援内容の内訳は、教職員・大学院生からの依頼による GL・SR 等作成のための文献検索代行が 8 件、大学院生・学部学生からの依頼による論文執筆のための文献検索相談が 9 件であった。最近では初めて論文投稿に取り組む学生からの相談も増加傾向にある。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は主にオンラインによる打合せを実施した。

1. Tsujii N, Okada T, Usami M, Kuwabara H, Fujita J, Negoro H, Kawamura M, Iida J, Saito T. Effect of Continuing and Discontinuing Medications on Quality of Life After Symptomatic Remission in Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder. The Journal of Clinical Psychiatry. 2020; 81(3). doi:10.4088/jcp.19r13015.

※本取組みは「令和 3 年度国立大学図書館協会賞」を受賞した。

C | 学術研究コンテンツの整備

(1) 令和3年度学術研究コンテンツの整備

本学では、2017年度分選定より特定経費（全学で使用する電子ジャーナル及びデータベース（以下、学術研究コンテンツ）整備のために配分されている経費）の上限が設定された。その一方で、毎年原価値上げや為替相場の影響により、学術研究コンテンツ整備にかかる経費が増大し続ける状況は変わっていない。

2021年度特定経費による学術研究コンテンツの選定では、費用対効果が良好でない等の中止基準に該当するものについて、電子ジャーナル個別契約31点、データベース4点を中止とした。

また、Nature 関連誌をはじめとする新規創刊タイトル等の購読ニーズに対応して欲しいとの要望に応じるため、購読を希望する部局が経費を一部負担することを前提に特定経費の一部を入れ替え枠として設定、部局等に希望調査を行った。結果、電子ジャーナル14点を新規購読することとなった。

(2) バックファイルの整備

電子ジャーナルのバックファイルを導入することにより、研究者は、現在の研究成果だけではなく過去の研究成果にもアクセスすることが可能となる。教育研究活動の活性化が期待できることから、本学では、電子ジャーナルのバックファイル整備計画に基づき整備を進めている。

令和2年度は部局等に対して購入希望アンケート調査を行い、結果に基づき Wiley 社及び Canadian Science Publishing 社のバックファイル8タイトルを買取方式で導入した（使用可能年は各タイトルによる）。

D | 学術成果刊行助成

本学では、学術的価値が高くかつ独創的な著作物の刊行を促進し、学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成20年5月に「学術成果刊行助成」を創設した。助成の対象は図書及び文系欧文誌の刊行である。

図書については5件の申請があり、そのうち1件を採択した。

・一九世紀の蝦夷地・北海道における感染症対策の歴史的研究／永野 正宏

また、欧文誌については、文系8部局を対象に募集を行い、次の3誌を採択した。

- ・“Acta Slavica Iaponica”（スラブ・ユーラシア研究センター）
- ・“Journal of Applied Ethics and Philosophy”（文学研究院）
- ・“Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences”（文学研究院）

この事業により、令和2年度までに図書を18冊、欧文誌を延べ5誌刊行している。刊行した著作は本館の教員著作物コーナー及び北図書館で利用可能である。また、欧文誌については HUSCAP に掲載し国内外へ発信している。

E | 北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP)

・資料提供・公開細則の改正

近年、学術論文の投稿時や査読の際に、該当の論文で使用した研究データ、特に論文の根拠となる研究データを機関リポジトリ等であらかじめ公開しておくことが求められることが多くなってきている。本学の教員からも「投稿中の論文の受理にあたって研究データを先んじて HUSCAP で公開したい」との要望が徐々に挙がるようになってきていた。

しかしながら、HUSCAP は「すでに公表済の学術論文」を主要な公開対象としていたため、HUSCAP で公開可能な資料等について規定している「北海道大学学術成果コレクション資料提供・公開細則」では対象資料として「研究データ」を挙げていなかった。このため、投稿中の論文で使用している研究データを HUSCAP へ登録するには、例外措置として登録するための追加手続きが必要になる等、スムーズな登録が困難であった。

このような問題を解消するため、資料提供・公開細則の改正を行い、公開対象資料に「学術論文等の研究成果に付随する研究データ」を追加することにより、HUSCAPで速やかに公開できるようにした。また、公開時の利用条件についても、研究データの公開時の資料の利用条件として推奨されているCC0をHUSCAPで公開する研究データの利用条件として選択できるように変更した。(令和3年4月1日施行)

F

オープンサイエンス・研究データ
関係事業

(1) HUSCAP 資料提供・公開細則の改正

「学術論文等の研究成果に付随する研究データ」の速やかな公開を可能とするため「北海道大学学術成果コレクション資料提供・公開細則」を改正した。(前項参照)

(2) 「研究データの公開と管理」ページの公開

令和3年3月、図書館Webサイト上に、研究データの公開と管理に関わる情報をまとめたページを作成、公開した。

本ページでは、研究データの公開の際に利用できるデータリポジトリや、研究データを公開する際の留意点、国立情報学研究所が提供する研究データ管理サービス「GakuNin RDM」の紹介の他、研究データに関する教材や参考になる情報等を掲載している。

(3) GakuNin RDM 本運用開始への対応

令和元年5月から情報基盤センターと協力して実証実験を実施してきたGakuNin RDMの本運用が令和3年2月15日(月)に開始された。今後も情報基盤センターと協力しつつ、広報とサポートを行って行く予定である。

3 社会貢献と国際化

A 北方資料公開

(1) 北方資料データベースの充実— IIF 対応画像の公開・パブリックドメイン化—

令和2年3月25日(水)より、北方資料データベースで本学が原本を所蔵している写真・地図・旧記等63件(画像1,590枚)について、高精細画像公開の国際規格IIF(International Image Interoperability Framework)に準拠した画像の公開を開始した。これらの画像の利用条件をパブリック・ドメイン(申請不要)とすることで、さらなる利用促進を企図した。

今後は資料の高画質化に努めると同時に、従来の低解像度画像についても、著作権・個人情報等に問題がないものにおいて、順次パブリック・ドメイン化を進めることとしている。

(2) 北方資料掲載申請

全国からの依頼によるテレビ放送や図書等への写真掲載等の許可件数は206件あり、資料点数としては580点であった。内訳は次の通り。

- ・放映許可件数：34件 資料数107点
- ・掲載許可件数：172件 資料数473点

前年度の状況と比較すると申請件数は同程度であるが申請点数は減少した。

(3) 北方資料データベースアクセスランキング

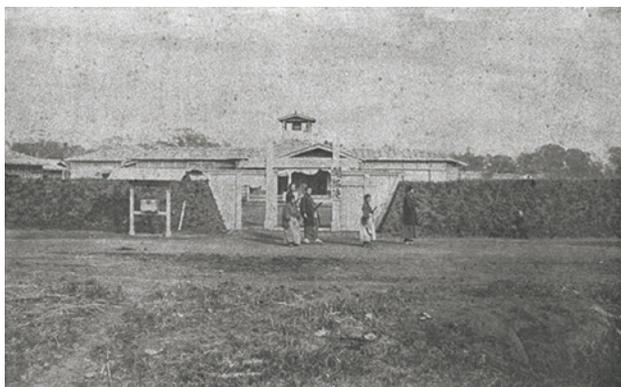
北方資料データベースのアクセス数上位資料は次の通り。

順位	資料名(請求記号)	アクセス数
1	松前蝦夷地絵図(図類647)	72
2	[エゾ及び日本図](912.51-Mat)	71
3	開拓使札幌本庁仮庁舎と官員たち (北大百年5)	64
4	[アンジェリスの蝦夷地図](915.1-Ci)	57
5	札幌市地番入明細全図(図類966-16)	56

※算出条件：書誌ページを開いたユニークユーザーの数
※第2位及び第4位は北方資料データベースでは目録情報のみ公開している。



第1位 松前蝦夷地絵図



第3位 開拓使札幌本庁仮庁舎と官員たち（明治4年）
（パブリック・ドメイン）



第5位 札幌市地番入明細全図（昭和2年）
（パブリック・ドメイン）

(4) 北方資料企画展示

毎年、所蔵資料を一般の方にも紹介する企画展示を本館で開催してきたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため学外者の入館を制限していることから、Webによる資料公開を試みた。

3月10日（水）から、平成28年度企画のリバイバルとして、当時の展示資料からピックアップしたWeb企

画展示「北の動物たち―描かれた海獣―」を開催した。

このWeb展示では、江戸末期から明治初期の蝦夷地関係図記（写本・木版本）や軸物に色鮮やかに描かれたアザラシやオットセイ等の海獣の姿を見ることができ、また、資料の詳細や画像をオンラインで閲覧できる北方資料データベースへのリンクを整備しており、一部画像はIIIFに準拠している。

図書館への来館は難しい状況であるが、これまでよりも多くの方に所蔵資料を公開する形となり、今後の企画展示のあり方を多様化するよい契機となった。



Web 展示企画 TOP 画面



資料紹介画面

(5) 重要文化財「ヤエンコロアイヌ文書」の修復

4月27日（月）～3月25日（木）に「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」の修復を行った。

この文書は、カラフト西岸ナヨロの惣乙名（複数村落の統括者）をつとめたアイヌの氏族長の家に保管、伝来した文書群である。清朝関係文書4通と日本側作成文書9通の計13通で構成され、令和元年7月23日（火）に国指定重要文化財の指定を受けた。

卷子2巻に軸装丁されていたが、裏打ちや仕立てに使用されている紙や裂がそれぞれに硬く、資料を傷めている状態であったため、専門業者に依頼し修復を行った。

修復の過程で各文書を卷子装の台紙から取り外し旧裏打紙を剥離し本紙のみの状態になると、旧畳み跡等の資料本来の状態が明らかになり、また、本紙の状態も比較的健全であることが判明したため、本学・文化庁・修復業者とで協議を行い、修復後は卷子装から未装丁へと現状変更した。

北方資料データベースでは、修復後に閲覧可能となった文書背面の状態等を含め、修復後の全文書及び修復前の文書をそれぞれ継続して公開する予定である。



修復後の満文文書
経年の汚れの除去、剥落止め等を行った

B | 国際連携強化

国連寄託図書館、EU情報センター

図書館は、日本で3番目の国連寄託図書館であり、日本で8番目のEU情報センター（EUi）である。

(1) EUフレンドシップウィーク関連図書展示

毎年、駐日欧州連合代表部広報部と国内のEU情報センターが、ヨーロッパデー（5月9日）近辺に連携して行う「日・EUフレンドシップウィーク」のイベントに参加している。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう閉館の為、1か月遅れの6月3日（水）～7月3日（金）に、本館オープンエリアで「EU今年ホットな国を紹介！クロアチア・ドイツを中心に」と題して、大学院公共政策学連携研究部遠藤乾教授のEU関連新聞記事並びに関連図書の展示を行った。



図書展示の様子

(2) 国連広報センターとの協力

1月14日（木）に国連広報センター主催の国連寄託図書館研修会議がオンラインで開催された。本学を含む35機関（約60名）が、講演会、SDGsブックトーク、国連本部バーチャルツアー等のプログラムに参加し、それぞれの近況報告を行った。

C | 展示会・公開イベント

(1) 北海道大学教育学部創立70周年関連連携図書展示—ブックガイドで学びを広げる「教育学へのレッスン」—

令和元年の教育学部創立70周年にあたり、教育学部・教育学院教員一同の執筆による書籍『ともに生きるための教育学へのレッスン40—明日を切り拓く教養—』が出版された。それを機に教育学部図書室と協力し、9月28日（月）～10月26日（月）に本館と北図書館で



本館図書展示の様子



北図書館図書展示の様子

所蔵されている教育関連の図書展示を行った。

学部を選ぼうとしている初年次学生、専門分野を決めようとしている教育学部生、教育学に関心のある学生に研究を認識してもらい、資料利用の促進をはかる等の目的で、本館で30冊、北図書館で40冊が展示された。

1か月程度の短い展示期間並びにコロナ禍の状況にも関わらず、本館では7冊、北図書館では6冊が貸し出された。

(2) 図書展示「冬を元気にのりきろう！」(北図書館)



展示の様子

12月17日(木)～2月24日(水)、北図書館で、外出を控えなくてはならないコロナ禍の冬における学生の心と体のケアを目的として、図書展示「冬を元気にのりきろう！」を行った。「からだの健康」「こころの健康」「感染症を知る」「体力づくり」「おいしいごはん」の5つのテーマに沿った図書を展示するとともにブックログでも公開し、学内外に図書を紹介した。

期間中、展示した49冊中45冊が貸し出され、貸出回数は延べ175回となった。

(3) 週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」(北図書館)



図書館公式 Twitter での公開の様子

1月4日(月)から、北図書館で週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」を開始した。学生の興味を引くテーマや話題となっているテーマの図書をタイムリーに紹介するとともにリクエストも受け付け、読書意欲の向上を狙った。

展示図書は図書館公式 Facebook と Twitter で公開しており、学生の他、著者からも反応がある等、学内外に好評である。

(4) 図書展示「ガイドブックで挑戦！挫折しない読書」(北図書館)

1月25日(月)～3月18日(木)、北図書館で、春休みの長期休暇を利用して、普段手が伸びないような大作や有名作品に挑んでもらえるよう、図書展示「ガイドブックで挑戦！挫折しない読書」を行った。親しみやすい関連本をあわせて展示することで、挫折せず読み通してもらおうことを狙った。また、展示図書はブックログでも公開し、学内外に図書の紹介を行った。

期間中、展示した149冊中104冊が貸し出され、貸出回数は延べ222回となった。

4 その他

A 外部資金獲得

(1) 古本募金

図書館では、自己収入獲得を目的として平成28年から「古本募金」事業に取り組んでいる。本館・北図書館に設置した回収ステーションに古本を入れてもらう他、部局図書館・室や研究室等での回収も行っている。

古本は業者が買い取り図書館の雑収入となる。令和2年の買い取り冊数は7,596冊、買取総額は429,855円となった。古本募金で得られた収入の用途は図書館での教育支援・研究支援で、電子ブック等を購入した。

(2) 外部資金申請

学内の図書館外の資金として、「スーパーグローバル大学創成支援事業」に申請・採択された。同事業により「英語論文の書き方セミナー」の基礎編及び応用編を実施した(詳細は6ページ参照)。他に学習用基本的洋書(電子ブック)も購入した。

また「研究大学強化促進事業」として、URAステーションと連携し、学内の研究活動や研究力強化の取り組み等の学内情報について部署横断的にアーカイブ・共有する情報システムのプロトタイプ(開発名:北海道大学 大学事業・活動情報共有システム:Strategy and Activity Sharing System of Hokkaido University, SSS-HU)を設計・構築した。

B ぐいぐいプロジェクト

「ポストコロナの大学図書館をぐいぐい実現するプロジェクト」の実施

新型コロナウイルス感染症下での利用者の行動変容や今後のDXへの動きを鑑み、今始めるべき業務改革を提案するため、標記プロジェクトを6月～8月に実施した。「電子ブックの活用予想」「在宅勤務での業務遂行」「eリソース業務効率化のための組織再編案」など10項目にわたる提案をとりまとめた。いくつかの課題は調査研究室(研究開発室から改称)にて継続検討となった。



展示の様子

(5) 「就活応援！就活・お仕事関連図書展示」 (北図書館)



展示の様子

2月20日(木)～4月17日(金)、就職活動をする学生を応援するため、北図書館で「就活応援！就活・お仕事関連図書展示」を行った。面接対策やビジネスマナーに関する図書63冊を展示し、うち52冊が貸し出され、貸出回数は延べ144回となった。

5 新型コロナウイルスへの対応

(1) 対応記録

附属図書館における新型コロナウイルス感染症対策状況 (R2.3-R3.3)

月	日	国・道	大学 BCP レベル	図書館 (本館・北図書館) ◇縮小 ●新規 ◎再開
2月	28日	北海道非常事態宣言		
3月	4日			◇一部施設の利用制限開始 (グループ学習室等) ◇定期的な換気開始 (北館)
	6日			◇3月の土日祝日休館を通知
	19日	北海道非常事態宣言終了		
4月	1日			◇館内での会話禁止 ◇定期的な換気開始 (本館)
	4日			◇開館時間を短縮 (9時-17時)
	6日			◇各種ガイダンスの延期・中止のお知らせ
	10日			●「自宅学習応援ページ」開設 *リモートで利用可能な電子ブック等の案内
	11日			◇4月以降の土日祝日の休館開始
	12日	北海道・札幌市緊急共同宣言		
	14日			●カウンターにビニール仕切り設置 (北館)
	16日	緊急事態宣言の対象が全国へ	策定	◇学外者の利用制限開始 ●「新型コロナウイルス感染症対応特設サイト」開設
	17日			
	18日		2	◇臨時休館開始
5月	20日			
	21日			●オンライン授業準備のための教員向け貸出開始 ●公式 Twitter 開設 ◇在宅勤務開始 (5割) ◇ILL 業務停止 (本館) 学外からの複写受付等
	11日		3	●カウンターにビニール仕切り設置 (本館) ◇休館期間延長決定 (5月31日まで)
	13日			●卒論等作成のための学生向けの貸出開始 教員の許諾、メールによる事前予約 (職員が出納)
6月	25日	道を含む国の緊急事態解除		
	28日			●臨時入館及び郵送サービスに関する通知発出
	1日	大学への休業要請解除		●サービス部門を中心に在宅勤務の割合を2-3割に変更 ●時間外 (夜間・休日等) 委託業者の業務再開 (郵送サービス業務準備等)
	2日		2	●事前予約制による臨時入館・貸出の受付開始 4/21付、5/13付の予約貸出終了
7月	3日			●臨時入館、郵送貸出サービス開始
	5日			●新入生向け図書館の使い方動画公開
	19日	都府県・札幌との往来可能に		
	23日			●複写郵送サービス開始
	14日			◎開館再開 (学内構成員のみ)
8月	14日			●本館では、オンライン授業を受講する学生の要望に対応し、PC利用可能エリアを拡大
9月	24日			本館 第2学期の開館時間開始 ◎本館では、第2学期の対面授業の拡大に対応し、利用可能な座席数を197から257に増加
	28日		1	北図書館 第2学期の開館時間開始
10月	26日			◎北図書館では座席パーテーションを設置し、利用可能な座席数を221から331に増加 (設置作業 10/3-10/25)
	28日	北海道、警戒ステージを2に引き上げ		
11月	4日			●入館ゲート前にサーモカメラ設置 (本館1台・北館2台)
	5日	北海道、1日の新規感染者数が100名を超える (以降、100名超が続く)		

月	日	国・道	大学 BCP レベル	図書館（本館・北図書館） ◇縮小 ●新規 ○再開
11月	7日	北海道、警戒ステージを3に引き上げ	1	◎土日祝日の開館再開
	9日			◎平日の開館時間を19:00までから20:00までに延長
	17日	北海道、札幌市のみ警戒ステージを4に引き上げ		
	18日			対面授業の継続実施に伴い、BCPレベル1と同様に開館
12月				
1月	7日	東京、埼玉、千葉、神奈川に緊急事態宣言（2/7まで）	2	
	13-14日			●消毒液スタンド、二酸化炭素測定器を事務室内各所に設置
	14日	栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡に緊急事態宣言（1/14～2/7）		
2月	2日	栃木を除く1都2府7県緊急事態宣言継続（3/7まで）		●個別学習の支援を目的として個別学習用ブースを本館・オープンエリアに4席設置
	26日			
	28日	大阪、京都、兵庫の緊急事態宣言解除		
3月	5日	首都圏1都3県の緊急事態宣言延長（3/21まで）		
	21日	首都圏1都3県の緊急事態宣言解除		

(2) 統計

【サービス利用状況】

1 事前予約による貸出（または複写）

教員：4/21～6/2

指導教員の許諾を得た学生：5/13～6/2

	本館				北図書館			
	教員		学生		教員		学生	
	申請件数	出納冊数	申請件数	出納冊数	申請件数	出納冊数	申請件数	出納冊数
4月	21	58			7	18		
5月	95	297	109	379	26	64	30	70
6月					4	8	5	22
合計	116	355	109	379	37	90	35	92

2 臨時入館措置（人数）

6/3～6/30

	本館	北図書館
学生	988	595
教職員	208	42
合計	1,196	637
一日平均	59.8	31.9

*申込者ではなく、実入館者

3 郵送貸出サービス

6/3～3/31

	受付件数	受付冊数
本館	110	325
北図書館	79	170
合計*	148	495

*受付件数は、本館と北図書館両方の蔵書が一度に申し込まれる場合があるので単純な合計にならない。



安心・安全な学習環境を提供するパーソナルブース



閲覧席の飛沫防止策

令和3年度重点項目

重点項目 1

ラーニングサポート室等の学内外の関係部局と連携したウィズコロナの時代における学生の自主的な学習やグローバル化を支援するイベントの開催

(1) 自主的な学習の支援

1) ラーニングサポート室との連携

ラーニングサポート室と連携し、学部学生向けの効果的な学習・研究法を身につけるためのセミナーを引続き開催する。初年次学生を対象とした「スタディ・スキルセミナー」を中心に、従来の対面形式での実施に限らず、自宅等からも受講できるようにオンライン形式でのセミナーについてもラーニングサポート室と協働で進める。また、学生のニーズを反映させた内容やテーマを検討し、自ら学び課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

2) 法学研究科との連携

法学政治学資料センターと協力し、法情報の基礎的な探し方を学ぶ「文献収集セミナー(法学編)」を開催する。新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で、法学政治学資料センターと図書館の職員が相互補完しながら、実習を交えたレクチャーを行い、法情報の収集スキルの習得を支援する。

3) 授業との連携

授業やゼミ等において、文献収集や管理方法等、希望に応じた内容でカスタマイズが可能なオーダーメイド講習会を活用してもらうよう案内を行う。また、専門分野に特化した文献収集法等の依頼については、各図書室等において連携・協力し、実施体制の強化を図る。

(2) グローバル人材育成支援

新型コロナウイルス感染防止のため、「北海道スタイル」安心宣言にそって安全対策を講じて、国連等の国際機関の文書や統計情報の収集スキルを身に付け、グローバルな課題をより深く知るために役立つ、国際機関情報の探し方セミナーを開催する。また、グローバル社会で活躍するために必要な語学力を養うための新渡戸カレッジ応援イベント「めざせ100万語! 英語多読マラソン」を引続き実施する。

重点項目 2

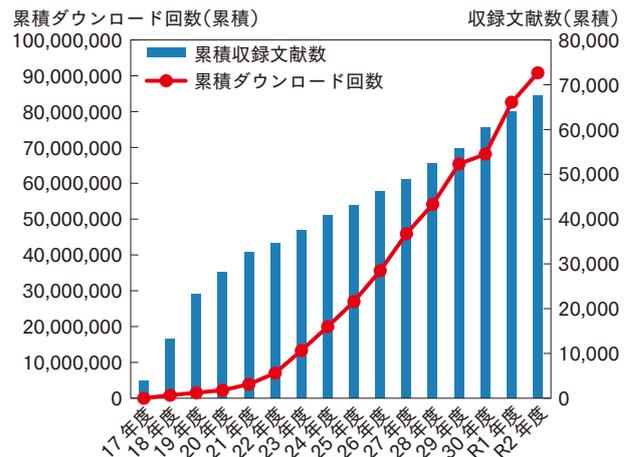
HUSCAPを通じた本学の教育研究成果の社会への発信

引続き HUSCAP を通じて本学の教育研究成果の社会への発信を行う。また、HUSCAP の研究データ対応について、新 JAIRO Cloud への移行準備を進める。

(1) 登録公開状況

新規登録公開は、3,466 件、累積収録文献数は 67,291 件、最近5年間の平均収録文献数は 3,718 件、累積ダウンロード数は、90,236,731 件である。

累積収録文献数及び累積ダウンロード数



(2) 令和3年度年度計画数値目標と実施計画

1) 年間 3,000 件のコンテンツ増加

現在、学内研究者の学術論文を Web of Science を用いて捕捉し、HUSCAP への登録を促している。

年間 3,000 件のコンテンツを増加させるため、コンテンツの収集に関し、研究論文本文を中心とするこれまでの方針を継続しつつ、本学の教育研究活動による多様な成果を保存・継承するために、実験結果・観測結果等のデータ類の収集や、閲覧頻度の高い教育資料の登録を進める。

2) 研究データ対応への準備

研究データに関しては、国立情報学研究所で提供中の研究データ管理基盤 (GakuNin RDM) との連携を視野

に入れる必要がある。研究データ管理基盤と連携した研究データの収集・公開の実現のため、令和3年度より本格稼働予定の新 JAIRO Cloud への移行準備を進める。

重点 項目 3 | 図書館所蔵資料の展示や公開による情報発信

(1) 所蔵資料の企画展示

新型コロナウイルス感染症対策とそれに伴う利用制限の中で、学内外に公開できるよう令和2年度に Web 展示を試行開催した。来館することなく気軽に観覧できる Web 展示を継続して実施し、価値ある所蔵資料を広く学内外に公開を行い、文化振興に貢献する。

また、図書案内を目的とする展示については、従来の図書館内での図書展示に加え、Web 本棚を活用した展示も進める。学内者には直接的な利用促進を図る他、学外者には図書紹介として生涯学習を支援する。

(2) 所蔵資料の電子化と公開

北方資料データベースにおいて、所蔵資料の電子化及び高精細画像による公開を推進する。デジタル画像の国際規格である IIIF に準拠した高精細画像による公開を進め、情報資源を持続的に利用できる環境を整備することで、国内外からの関連分野への認知の向上をはじめ、教育及び研究活性化への貢献を行う。

連携事業

令和2年度

No.	時期	内容	連携・連携先	学内外	備考
1	3/27-8/28	北大生協書籍部・北図書館合同新入生応援企画「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気のできる！おすすめ本～」展示（北図書館）	北海道大学生協同組合書籍部	学外	
2	9/1-10/26	学部選択参考図書展示企画（北図書館）	高等教育推進機構ラーニングサポート室	学内	
3	9/15-10/30	「全国読書マラソン・コメント大賞」連携図書展示	全国大学生協同組合連合会	学外	Facebook 9/16
4	10/7-11/30	「北海道大学ハルトプライズ」協働資料展示（北図書館）	北海道大学ハルトプライズ運営委員会	学内	
5	10/29	「論文の探し方」をLASBOS Moodle上で公開	水産科学研究院 教育プログラム企画推進室（バランスドオーシャン運用部）	学内	
6	12/8	Important Points for Journal Submission [英語論文執筆セミナー]（オンライン同時配信）	人材育成本部 I-HoP	学内	Facebook 11/25
7	12/19	図書館・博物館の融合が産み出す水産科学教育研究の未来像（オンライン同時配信）（水産学部）	北海道大学総合博物館水産科学館・水産科学研究院 教育プログラム企画推進室（バランスドオーシャン運用部）・水産科学院教育改善委員会 FD・TA 研修室	学内	
8	1/25	図書館の紹介動画「プラッと水産学部図書館」の公開（函館キャンパスグループ）	水産科学研究院 教育プログラム企画推進室（バランスドオーシャン運用部）	学内	

ガイダンス・講習会

令和2年度

No.	時期	内容
1	4/1-4/7、4/15-4/30	10分ガイダンス（対面）（函館キャンパスグループ）全4回
2	4/7	『図書室利用と文献入手 きほんのき ミニミニセミナー』（対面）（歯学部）
3	5/21-5/22	オーダーメイド講習会（オンライン同時配信）（医学研究院：玉腰暁子教授）
4	6/18	オーダーメイド講習会（オンデマンド）（保健科学研究院：看護研究I）
5	7/1	オーダーメイド講習会（オンデマンド）（歯学院：歯学研究概論）
6	7/30	図書館情報入門（オンデマンド）（医学研究院：村上学助教）
7	9/29-10/7	おうちで北図書館ガイダンス（オンライン開催）（北図書館）全2回
8	10/15	オーダーメイド講習会（オンライン同時配信）（保健科学研究院：山本徹教授）
9	10/21	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：大谷和大講師）
10	10/22	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：田上貴祥助教）
11	10/27-10/29	「化学研究を加速させる！ 物質×反応×文献データベース講習会【SciFinder-n 編】」（オンライン同時配信）（薬学部、工学部、理学部、農学部、北キャンパス、水産学部）全6回
12	11/4-11/6	「化学研究を加速させる！ 物質×反応×文献データベース講習会【Reaxys 編】」（オンライン同時配信）（薬学部、工学部、理学部、水産学部）全4回
13	11/6	『研究をめぐる様々な評価指標～ビブリオメトリクスとオルトメトリクス』（オンライン同時配信+オンデマンド）（歯学部）
14	11/6	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：石田知也助教）
15	11/9	オーダーメイド講習会（対面）（薬学部：薬物動態解析学・臨床薬剤学）
16	12/3-12/4	オーダーメイド講習会（オンデマンド）（歯学研究院：フロンティア基礎科目）
17	12/8	Important Points for Journal Submission（英語論文執筆セミナー）（オンライン同時配信）
18	12/16	Mendeley 講習会（オンライン同時配信）（理学研究院）
19	1/20	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：実山豊講師）
20	通年	30分講習会（対面+オンライン同時配信）（医系グループ）全28回

活動日誌

令和2年度

時期		内容（★は新型コロナウイルス感染症関連の対応）	
2月	2/20 - 4/17	「就活応援！就活・お仕事関連図書展示」（北図書館）	
	3/27 - 8/28	北大生協書籍部・北図書館合同新入生応援企画「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本～」展示（北図書館）	
4月	4/16 - 5/21	第52回国立大学図書館協会北海道地区協会総会（メール審議）（館長、事務部長、管理課長）	
	4/18	★新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館開始	
	4/21	附属図書館公式 Twitter 開設	
5月	5/15	国立大学図書館協会春季理事会（令和元年度）（Web）（館長・事務部長・管理課長）	
	5/28	2020年度第1回JPCOAR企画調整会議（Web）（研究支援課長）	
6月	6/2	国立情報学研究所実務研修成果報告会（Web）（管理課）	
	6/3	★事前予約制による臨時入館開始	
	6/3 - 7/3	日・EU フレンドシップウィーク関連図書展示	
	6/8 - 6/10	国立情報学研究所学術基盤オープンフォーラム（Web）（管理課、研究支援課課長補佐、研究支援課）	
	6/12 - 6/19	令和2年度第1回北海道図書館連絡会議兼第61回北海道図書館大会運営委員会（メール審議）（利用支援課長）	
	6/15	JPCOAR コンテンツ流通促進作業部会（Web）（管理課）	
	6/16 - 6/25	第1回学術研究コンテンツ小委員会（メール審議）	
	6/19	北海道地区大学図書館協議会令和元年度第3回幹事館会議（メール審議）（利用支援課長、利用支援課課長補佐）	
	6/19 - 6/30	第67回国立大学図書館協会総会（オンライン投票方式）（館長、事務部長、管理課長）	
	6/22	第11回JPCOAR運営委員会（Web）（研究支援課長）	
	6/24 - 6/26	第1回学術情報ソリューションセミナー on the Web（研究支援課課長補佐）	
	6/30 - 7/15	令和2年度国立大学図書館協会第1回理事会（メール審議）（館長、事務部長、管理課長）	
	7月	7/6	第1回JPCOAR研究データ作業部会 RDM事例形成プロジェクトミーティング（Web）（研究支援課長）
7/10		SPARC Japan セミナー企画WG 企画Web会議（管理課）	
7/14		★学内構成員に対して利用再開	
7/15		北海道地区大学図書館協議会令和元年度第4回幹事館会議（メール審議）（利用支援課長、利用支援課課長補佐）	
7/15 - 7/22		第244回図書委員会（令和2年度第1回）（メール審議）	
7/17		SPARC Japan セミナー企画WG 企画会議（Web）（管理課）	
7/28		第1回AXIES-RDM部会研究データポリシーWG（Web）（研究支援課長）	
7/30		2020年度第2回JPCOAR企画調整会議（Web）（研究支援課長）	
8月		8/6	第2回AXIES-RDM部会研究データポリシーWG（Web）（研究支援課長）
		8/7	第2回JPCOAR研究データ作業部会 RDM事例形成プロジェクトミーティング（Web）（研究支援課長）
	8/17	第1回学術情報流通推進委員会（Web）（事務部長）	
	8/18 - 8/25	第1回図書選定小委員会（メール審議）	
	8/20	第3回AXIES-RDM部会研究データポリシーWG（Web）（研究支援課長）	
	8/25	第70回北海道地区大学図書館協議会総会（メール審議）（館長、事務部長、利用支援課長）	
	8/25、8/28	第3回システムワークフロー検討作業部会（Web）（管理課長）	
	8/28	2020年度第3回JPCOAR企画調整会議（Web）（研究支援課長）	
9月	9/1	SPARC Japan セミナー企画WG 企画会議（Web）（管理課）	
	9/1 - 10/26	学部選択参考図書展示企画（北図書館）	
	9/2	第2回国立大学図書館協会次期ビジョン策定小委員会（Web）（管理課長）	
	9/3	第12回JPCOAR運営委員会（Web）（研究支援課長）	
	9/4	第4回AXIES-RDM部会研究データポリシーWG（Web）（研究支援課長）	
	9/10	デジタルアーカイブ産学官フォーラム（第4回）「ジャパンサーチの挑戦～ポストコロナ社会とデジタルアーカイブ～」（研究支援課）	
	9/10	第5回AXIES-RDM部会研究データポリシーWG（Web）（研究支援課長）	
	9/14	第27回これからの学術情報システム構築検討委員会（事務部長）	
	9/15 - 10/30	「全国読書マラソン・コメント大賞」連携図書展示（本館・北図書館）	
	9/17 - 9/18	RA協議会第6回年次大会（Web）（利用支援課）	
	9/28 - 10/26	北海道大学教育学部創立70周年関連連携図書展示「ブックガイドで学びを広げる『教育学へのレッスン』」（本館、北図書館、教育学部）	

時期	内容 (★は新型コロナウイルス感染症関連の対応)	
10月	10/1	2020年度第1回 AXIES-JPCOAR 研究データ連絡会 (Web) (研究支援課長)
	10/2	第6回 AXIES-RDM 部会研究データポリシー WG (Web) (研究支援課長)
	10/2	第1回 SPARC Japan セミナー 2020「研究データ公開：フルオープンと制限公開の境界線」(Web) (研究支援課課長補佐)
	10/7 - 11/30	「北海道大学ハルトプライズ」協働資料展示 (北図書館)
	10/14	第3回国立大学図書館協会次期ビジョン策定小委員会 (Web) (管理課長)
	10/19 - 10/23	第1回学術成果刊行助成審査委員会 (メール審議)
	10/20	2020年度第3回 JPCOAR 企画調整会議 (Web) (研究支援課長)
	10/26	JPCOAR 2020年度第2回研究データ作業部会ミーティング (Web) (研究支援課長、研究支援課)
	10/27	第3回 JPCOAR 研究データ作業部会 RDM 事例形成プロジェクトミーティング (Web) (研究支援課長)
	10/30	本館防災訓練
11月	11/4	JPCOAR フォーラム「いまこそオープン JPCOAR2020」(Web) (研究支援課長、管理課)
	11/4 - 11/6	図書館総合展 (Web) (管理課、利用支援課、研究支援課)
	11/9	国立大学図書館協会令和2年度秋季理事会 (Web) (事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長)
	11/16	外部評価委員会
	11/19	JPCOAR コンテンツ流通促進作業部会 (Web) (管理課)
	11/19 - 11/26	第2回図書選定小委員会 (メール審議)
	11/20 - 11/27	第2回学術研究コンテンツ小委員会 (メール審議)
	11/27	第7回 AXIES-RDM 部会研究データポリシー WG (Web) (研究支援課長)
	11/27	特定非営利活動法人日本医学図書館協会地区会事務局連絡会議 (Web) (研究支援課長、研究支援課)
	11/30	令和2年度 国立大学図書館協会北海道地区協会事務局課室長会議 (Web) (事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長)
	11/30	第29回京都図書館大会「ウィズコロナ時代の図書館」(Web) (研究支援課)
	12月	12/1 - 1/24
12/2		研究データ活用協議会総会及び公開シンポジウム (Web) (研究支援課長、研究支援課課長補佐)
12/3 - 12/14		第3回図書選定小委員会 (メール審議)
12/4		令和2年度 国立七大学附属図書館協議会 (Web) (館長、事務部長、管理課長)
12/4		国立情報学研究所創立20周年記念フォーラム (Web) (研究支援課長)
12/9		AXIES 年次大会 AXIES-RDM 部会ミーティング (Web) (研究支援課長)
12/9 - 12/12		大学 ICT 推進協議会 2020年度年次大会 (Web) (利用支援課)
12/15 - 2/24		企画展示「冬を元気にのりきろう！」(北図書館)
12/16 - 12/23		第245回図書館委員会 (令和2年度第2回) (メール審議)
12/18		第2回 SPARC Japan セミナー 2020 企画運営 (管理課)
12/18		第2回 SPARC Japan セミナー 2020「プレプリントは学術情報流通の多様性をどこまで実現できるのか？」(Web) (研究支援課課長補佐、管理課)
12/22		北海道地区大学図書館協議会令和2年度第1回幹事館会議 (Web) (利用支援課長、利用支援課課長補佐)
12/23		2020年度第4回 JPCOAR 企画調整会議 (Web) (研究支援課長)
12/24		JPCOAR コンテンツ流通促進作業部会 (Web) (管理課)
1月	1/4 -	週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」(北図書館)
	1/7 - 1/15	第2回学術成果刊行助成審査委員会 (メール審議)
	1/14	第4回システムワークフロー検討作業部会 (Web) (管理課長)
	1/15	2020年度第2回 AXIES-JPCOAR 研究データ連絡会 (Web) (研究支援課長)
	1/22	令和2年度第2回北海道図書館連絡会議兼第61回北海道図書館大会運営委員会 (第1回) (Web) (利用支援課長)
	1/22	2020年度大学図書館シンポジウム「オンライン授業における図書館の役割」(Web) (研究支援課)
	1/25	第28回これからの学術情報システム構築検討委員会 (事務部長)
	1/25	2020年度第2回 JPCOAR 研究データ作業部会全体ミーティング (Web) (研究支援課長、研究支援課)
	1/25 - 3/18	企画展示「ガイドブックで挑戦！挫折しない読書」(北図書館)
	1/29	第13回 JPCOAR 運営委員会 (Web) (研究支援課長)

時期	内容（★は新型コロナウイルス感染症関連の対応）	
2月	2/2	第4回国立大学図書館協会次期ビジョン策定小委員会（Web）（管理課長）
	2/3	AXIES-JPCOAR 研究データワークショップ打合せ（Web）（研究支援課長）
	2/5	国立大学図書館協会地区協会助成事業北海道地区協会令和2年度企画事業「コロナ禍を生き抜く！大学図書館のリモートアクセスサービス基礎知識」（Web）
	2/9	2020年度第2回JMLA 学術集会 WG 会議（研究支援課）
	2/16	公式 note アカウント開設
	2/17	国文学研究資料館古典籍共同研究事業研究センター令和2年度第1回運営委員会（Web）（利用支援課）
	2/17 - 2/23	第3回学術研究コンテンツ小委員会（メール審議）
	2/18	第3回 SPARC Japan セミナー 2020「初めての研究データ」（Web）（研究支援課課長補佐、研究支援課）
	2/19	AXIES-JPCOAR 研究データワークショップ（Web）（研究支援課、研究支援課課長補佐）
	2/26	ウェブ講演会「「新しい日常」における図書館」（国立国会図書館）（研究支援課）
	2/26 -	「就活応援！就活・お仕事関連図書展示」（北図書館）
	3月	3/2
3/3		JPCOAR コンテンツ流通促進作業部会（Web）（管理課）
3/5		AHEAD JAPAN 一般公開シンポジウム 2021（Web）（利用支援課、研究支援課）
3/8		キャンパスコンソーシアム函館ライブラリーリンク研修会「テクノロジーが変える図書館のカタチと未来」主催（研究支援課）
3/11		第2回学術情報流通推進委員会（Web）（事務部長）
3/11		令和2年度第3回北海道図書館連絡会議兼第61回北海道図書館大会運営委員会（第2回）（Web）（利用支援課長）
3/15		東京大学アジア研究図書館開館記念シンポジウム「サブジェクト・ライブラリアンの将来像 ―日本の大学図書館への導入拡大に向けて―」（Web）（管理課）
3/15 - 3/19		第4回図書選定小委員会（メール審議）
3/16		国立大学図書館協会東京地区助成事業 LibrarianMap イベント（Web）（利用支援課）
3/17		第1回点検評価小委員会及び第246回図書館委員会（令和2年度第3回）（Web）
3/17		2020年度 JPCOAR 総会（Web）（研究支援課長）
3/24		第63回北海道地区大学図書館職員研究集会第2回企画委員会（Web）（利用支援課課長補佐）

学外講師派遣等

令和2年度

No.	時期	報告者	内容	発表先・媒体	連携・連携先	学内外	備考
1	6/10	三上絢子	研究データ公開に向けたワークフローの検討	国立情報学研究所 学術情報基盤オープンフォーラム コンテントトラック 2「次期 JAIRO Cloud (WEKO3) と国内外のリポジトリの最新動向」		学外	発表
2	6月	千葉浩之	論文評価指標の要点整理と動向紹介	医学図書館 67 (2) : 89-93、2020		学外	寄稿
3	8月	児玉陽子	シドニー大学における研究データ管理～担当者へのヒアリングから	情報の科学と技術 70 (8) : 432-5、2020		学外	論文
4	8/21-23	川村路代	薬物療法により症状が安定した ADHD 患者において、薬物療法の中止は ADHD 症状を再発させるのか？／辻井農亜、岡田俊、宇佐美政英、桑原秀徳、藤田純一、根来秀樹、川村路代、飯田順三、齊藤卓弥	NPBPPP2020 合同年会		学外	発表（システムティックレビュー支援事業による成果物）
5	10/9、10/12	結城憲司	研究データの管理と公開	2020 年度 JPCOAR オープンアクセス新任担当者研修 プログラム A		学外	講師
6	11/26	本多竜二	札幌市立陵陽中学校職業講演	札幌市立陵陽中学校		学外	講師
7	12/2	結城憲司	JPCOAR 研究データ作業部会の取組	2020 年度研究データ利活用協議会総会		学外	発表
8	12/2	小林泰名	キャリア講演会	中央大学		学外	講師
9	12/10	川村路代	医療・健康情報のレファレンスと課題解決支援	令和2年度全道図書館専門研修〈サービス（レファレンス）〉		学外	講師
10	12月	結城憲司他	会員館紹介 北海道大学附属図書館	医学図書館 67 (4) : 229-31、2020		学外	寄稿
11	12月	川村路代	大学図書館と自治体との連携によるヘルスリテラシー講座	医学図書館 67 (4) : 263-7、2020		学外	寄稿
12	12月	川村路代	JMLA 活動報告 第4回 JMLA 学術集会開催報告／白土裕子、川村路代、工藤千絵	医学図書館 67 (4) : 272-4、2020		学外	寄稿
13	2/5	清重周太郎	「みんなはどうする？どうしてる？— with コロナ時代の図書館を語ろう」	関東地区国立大学図書館協会職員研修		学外	講師
14	2/15	山形知美	職員研修「コロナ禍を踏まえた大学図書館、研究者とオープンサイエンスの必要性」	大阪大学		学外	講師
15	2/18	三上絢子	研究データ公開実践のための課題を探る：北海道大学での実例を通じて	第3回 SPARC Japan セミナー2020「初めての研究データ」		学外	講師
16	2/19	結城憲司	ディスカッションテーマ1「RDM用語をどのように説明するか」	AXIES-JPCOAR研究データワークショップ		学外	ファシリテーター
17	3/18	清重周太郎	大学業務のグラフ構造化における意思決定プロセスの組み込み技法に関する考察／清重周太郎、前田隼、三上絢子	情報処理学会第83回全国大会		学外	発表

統計

基盤統計

令和2年度雑誌所蔵・受入種類統計（対象期間：R2.4.1～R3.3.31）

区分	所蔵種類数 (令和3年3月31日現在)			受入冊数(令和2年度)								
				購入			寄贈			合計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館(本館)	20,724	13,279	34,003	162	31	193	376	27	403	538	58	596
附属図書館(北図書館)	923	607	1,530	133	5	138	11	1	12	144	6	150
文学研究院・文学部	3,442	1,791	5,233	244	169	413	472	8	480	716	177	893
法学研究科・法学部	649	302	951	131	166	297	294	20	314	425	186	611
経済学院・経済学部	1,024	258	1,282	134	29	163	298	26	324	432	55	487
医学研究院・医学院・医学部	3,270	2,500	5,770	180	26	206	166	4	170	346	30	376
歯学研究院・歯学院・歯学部	576	503	1,079	29	9	38	119	15	134	148	24	172
工学研究院	2,583	2,707	5,290	103	31	134	118	15	133	221	46	267
獣医学研究院	562	877	1,439	20	22	42	32	10	42	52	32	84
情報科学研究院	389	455	844	58	4	62	32	0	32	90	4	94
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	3,231	2,227	5,458	69	17	86	176	32	208	245	49	294
地球環境科学研究院	267	329	596	23	3	26	18	0	18	41	3	44
理学研究院・理学院・理学部	755	3,496	4,251	43	83	126	27	99	126	70	182	252
薬学研究院・薬学部	163	131	294	12	0	12	23	0	23	35	0	35
農学研究院	5,288	3,518	8,806	171	43	214	251	67	318	422	110	532
先端生命科学研究院	12	14	26	7	1	8	0	0	0	7	1	8
教育学院・教育学研究院	753	138	891	111	14	125	103	2	105	214	16	230
メディア・コミュニケーション研究院	166	166	332	56	23	79	7	0	7	63	23	86
保健科学研究院	807	133	940	42	1	43	35	0	35	77	1	78
公共政策大学院	2	0	2	5	0	5	0	0	0	5	0	5
低温科学研究所	829	947	1,776	14	0	14	43	14	57	57	14	71
電子科学研究所	18	6	24	11	1	12	0	0	0	11	1	12
遺伝子病制御研究所	5	21	26	3	0	3	1	0	1	4	0	4
触媒科学研究所	80	377	457	10	2	12	5	0	5	15	2	17
スラブ・ユーラシア研究センター	192	1,630	1,822	15	165	180	37	30	67	52	195	247
情報基盤センター	50	6	56	1	0	1	0	0	0	1	0	1
国際連携機構	2	1	3	7	0	7	1	0	1	8	0	8
高等教育推進機構	88	71	159	13	8	21	4	2	6	17	10	27
総合博物館	827	418	1,245	1	0	1	2	1	3	3	1	4
北方生物圏フィールド科学センター	14	65	79	21	4	25	1	0	1	22	4	26
大学文書館	249	7	256	68	2	70	29	2	31	97	4	101
アイヌ・先住民研究センター	113	12	125	4	3	7	0	0	0	4	3	7
創成研究機構	5	0	5	2	0	2	2	0	2	4	0	4
計	48,058	36,992	85,050	1,903	862	2,765	2,683	375	3,058	4,586	1,237	5,823

令和2年度蔵書・受入統計（対象期間：R2.4.1～R3.3.31）

区分	所蔵冊数 (令和3年3月31日現在)			受入冊数（令和2年度）											
				購入			寄贈			製本			総計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	994,483	843,575	1,838,058	3,766	284	4,050	1,406	734	2,140	213	49	262	5,385	1,067	6,452
附属図書館（北図書館）	260,995	118,424	379,419	3,282	157	3,439	170	181	351	26	0	26	3,478	338	3,816
文学研究院・文学部	154,846	104,156	259,002	1,092	371	1,463	1,796	1,568	3,364	447	193	640	3,335	2,132	5,467
法学研究科・法学部	7,831	1,714	9,545	518	159	677	436	283	719	348	279	627	1,302	721	2,023
経済学院・経済学部	7,570	3,341	10,911	105	35	140	170	208	378	224	36	260	499	279	778
医学研究院・医学院・医学部	52,589	93,952	146,541	511	23	534	106	5	111	178	8	186	795	36	831
歯学研究院・歯学院・歯学部	23,074	16,348	39,422	129	25	154	53	17	70	35	12	47	217	54	271
工学研究院	103,579	101,046	204,625	595	134	729	148	74	222	228	73	301	971	281	1,252
獣医学研究院	10,251	25,409	35,660	81	5	86	7	23	30	34	121	155	122	149	271
情報科学研究院	13,721	17,232	30,953	113	0	113	49	0	49	0	0	0	162	0	162
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	73,605	54,712	128,317	434	30	464	96	46	142	36	22	58	566	98	664
地球環境科学研究院	10,027	9,080	19,107	127	47	174	5	1	6	9	0	9	141	48	189
理学研究院・理学院・理学部	45,674	173,018	218,692	739	183	922	177	98	275	16	20	36	932	301	1,233
薬学研究院・薬学部	7,828	3,624	11,452	106	1	107	29	0	29	12	0	12	147	1	148
農学研究院	130,483	97,913	228,396	388	38	426	356	81	437	122	136	258	866	255	1,121
先端生命科学研究院	319	263	582	0	0	0	8	9	17	0	0	0	8	9	17
教育学院・教育学研究院	16,860	3,726	20,586	275	75	350	274	17	291	139	200	339	688	292	980
メディア・コミュニケーション研究院	3,410	4,494	7,904	26	15	41	6	14	20	0	0	0	32	29	61
保健科学研究院	29,070	4,036	33,106	192	2	194	33	0	33	52	0	52	277	2	279
公共政策大学院	1	0	1	25	19	44	0	88	88	0	0	0	25	107	132
低温科学研究所	10,356	24,289	34,645	3	0	3	17	6	23	30	24	54	50	30	80
電子科学研究所	556	481	1,037	0	0	0	62	0	62	0	0	0	62	0	62
遺伝子病制御研究所	68	43	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
触媒科学研究所	4,863	16,785	21,648	0	3	3	30	8	38	0	0	0	30	11	41
スラブ・ユーラシア研究センター	2,729	68,638	71,367	214	2,891	3,105	138	920	1,058	25	371	396	377	4,182	4,559
情報基盤センター	88	1	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際連携機構	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等教育推進機構	3,441	737	4,178	0	0	0	17	0	17	0	0	0	17	0	17
総合博物館	10,372	3,543	13,915	0	0	0	156	5	161	0	0	0	156	5	161
北方生物圏フィールド科学センター	6,331	1,822	8,153	2	3	5	0	0	0	0	0	0	2	3	5
大学図書館	3,507	70	3,577	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務局	0	0	0	2	37	39	0	0	0	0	0	0	2	37	39
アイヌ・先住民研究センター	4,347	626	4,973	51	31	82	171	8	179	0	0	0	222	39	261
人間知・脳・AI 研究教育センター	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報法政策学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
創成研究機構	19	3	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,992,894	1,793,111	3,786,005	12,776	4,568	17,344	5,916	4,394	10,310	2,174	1,544	3,718	20,866	10,506	31,372

※「所蔵冊数」は、当該部局に配架されている図書等の冊数。

※「受入冊数」は、当該部局予算による購入・製本、及び当該部局において寄贈受入した図書等の冊数で、別部局に配架した図書等を含む。なお、移動（部局をまたぐ所在変更）に伴う増減、除却に伴う減少は含まない。

電子ジャーナル提供タイトル数

出版社系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
ScienceDirect (Elsevier)	0	2,810	2,810
IEEE/ET Electronic Library	0	492	492
Oxford Journal Collection	0	362	362
Wiley Online Library	0	1,475	1,475
その他	12	1,966	1,978
小計	12	7,105	7,117
アグリゲータ系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
EBSCO Academic Search Premier	0	4,701	4,701
JSTOR	0	171	171
ProQuest	0	8,590	8,590
メディカルオンライン	1,461	0	1,461
その他	0	215	215
小計	1,461	13,677	15,138
合計	1,473	20,782	22,255

電子ブック提供タイトル数

プロバイダ*	タイトル数		計
	和	洋	
ACM Digital Library	0	9,796	9,796
EBSCOhost	267	1,858	2,125
Elsevier	0	1,086	1,086
Kinokuniya Company Ltd. (KinoDen)	662	2	664
Meteo, Inc. (メディカルオンライン)	171	0	171
NetAdvance (ジャパンナレッジ)	1,276	3	1,279
ProQuest Ebooks	0	543	543
Springer Nature	0	26,304	26,304
Wiley-Blackwell	0	433	433
丸善雄松堂株式会社 (Maruzen eBook Library)	4,028	1,025	5,053
その他	37	570	607
合計	6,441	41,620	48,061

*今回から出版社ではなくプロバイダ単位で集計

契約データベース一覧

ABSEES (American Bibliography of Slavic and East European Studies)
The Arabidopsis Information Resource (TAIR)
ASFA
Biological Science Database
Book Review Digest
CINAHL
CNKI
EconLit
International Political Science Abstracts
Lexis Advance
MarinLit
MathSciNet
MLA International Bibliography/MLA Directory of Periodicals
Oxford English Dictionary
ProQuest Dissertations & Theses A&I
Reaxys
SciFinder & SciFinder-n (Academic)
Sociological Abstracts
Ulrich's International Periodicals
Web of Science Core Collection
法情報総合データベースサービス (第一法規)
医学中央雑誌
ジャパンナレッジ Lib
LEX/DB インターネット (TKC)
日経 BP 記事検索サービス
日経テレコン 21

(R3.3.31 現在)

利用統計

令和2年度利用統計（対象期間：R2.4.1～R3.3.31）

区分	入館者数			貸出統計			相互協力				学内 ILL		レファレンス件数
	学内	学外	計	学生	その他	計	複写依頼	複写受付	貸借依頼	貸借受付	依頼	受付	
附属図書館（本館）	103,898	1,289	105,187	86,810	21,864	108,674	1,212	2,830	515	852	51	113	331
附属図書館（北図書館）	144,906	396	145,302	99,409	10,276	109,685	179	57	64	54	15	28	460
文学研究院・文学部図書室	3,863	4	3,867	1,635	320	1,955	1,042	336	377	23	57	9	651
経済学院・経済学部図書室	2,900	-	2,900	271	63	334	-	-	-	-	-	-	-
医学研究院・医学院・医学部図書室	23,647	22	23,669	7,309	845	8,154	643	861	20	3	19	67	73
歯学研究院・歯学院・歯学部図書室	10,169	0	10,169	804	357	1,161	25	100	4	1	9	14	118
工学研究院図書室	18,325	7	18,332	9,104	2,342	11,446	80	351	18	41	23	21	34
獣医学研究院図書室	-	8	8	876	512	1,388	29	75	1	1	7	8	-
水産科学研究院・水産科学院・水産学部図書室	17,837	58	17,895	4,421	509	4,930	43	275	199	72	24	42	362
地球環境科学研究所図書室	1,126	2	1,128	440	90	530	24	18	3	8	17	5	59
理学研究院・理学院・理学部図書室	4,444	-	4,444	4,246	1,953	6,199	85	236	25	38	41	46	68
薬学研究院・薬学部図書室	17,951	1	17,952	1,773	65	1,838	12	41	0	0	1	4	0
農学研究院図書室	19,620	-	19,620	6,346	643	6,989	673	310	14	34	66	27	151
教育学院・教育学研究院図書室	2,106	-	2,106	723	125	848	-	-	-	-	-	-	4
保健科学研究院図書室	9,108	6	9,114	1,109	246	1,355	425	256	3	7	44	17	193
低温科学研究所図書室	620	5	625	27	13	40	3	22	0	1	15	3	83
北キャンパス図書室	1,214	0	1,214	79	39	118	9	30	14	2	17	2	12
計	381,734	1,798	383,532	225,382	40,262	265,644	4,484	5,798	1,257	1,137	406	406	2,599

経済学部・教育学部は相互協力を附属図書館が担当

主要な電子ジャーナルのアクセス件数
（対象期間：R2.1.1～R2.12.31）

出版社系パッケージ	件数
ScienceDirect (Elsevier)	744,120
Wiley Online Library	346,603
Oxford Journal Collection	63,559
IEEE/IET Electronic Library	24,342
その他	1,140,479
小計	2,319,103
アグリゲータ系パッケージ	件数
メディカルオンライン	86,752
ProQuest	24,909
JSTOR	11,518
EBSCO Academic Search Premier	5,845
その他	10,376
小計	139,400
合計	2,458,503

主要なデータベースのアクセス件数
（上位 15 データベース）（対象期間：R2.4.1～R3.3.31）

データベース名	件数
Web of Science with InCites Journal and Highly Cited Data	332,778
医中誌 Web	170,341
SciFinder & SciFinder-n	170,027
日経テレコン 21	127,740
ジャパンナレッジ Lib	118,510
Reaxys	41,480
MathSciNet	41,315
CNKI（中国学術文献オンラインサービス）	17,625
TAIR（The Arabidopsis Information Resource）	17,411
MarinLit	15,756
日経 BP 記事検索サービス	14,283
法科大学院教育研究支援システム（LEX/DB インターネット）	5,009
Ulrichsweb（Ulrich's Periodicals Directory）	4,829
CINAHL	3,041
Lexis（旧 Lexis Advance）	2,826
合計	1,082,971

図書館 HP 等の利用

区分	学内	学外	計
図書館 HP のアクセス数	3,200,601	12,660,211	15,860,812
OPAC の検索回数	555,197	2,069,779	2,624,976
HUSCAP ダウンロード件数	35,441	8,306,431	8,341,872
北方資料データベースアクセス件数	209,486	6,421,807	6,631,293
Twitter フォロワー数			1,235
Facebook 総いいね数			2,880

(R3.3.31 現在)

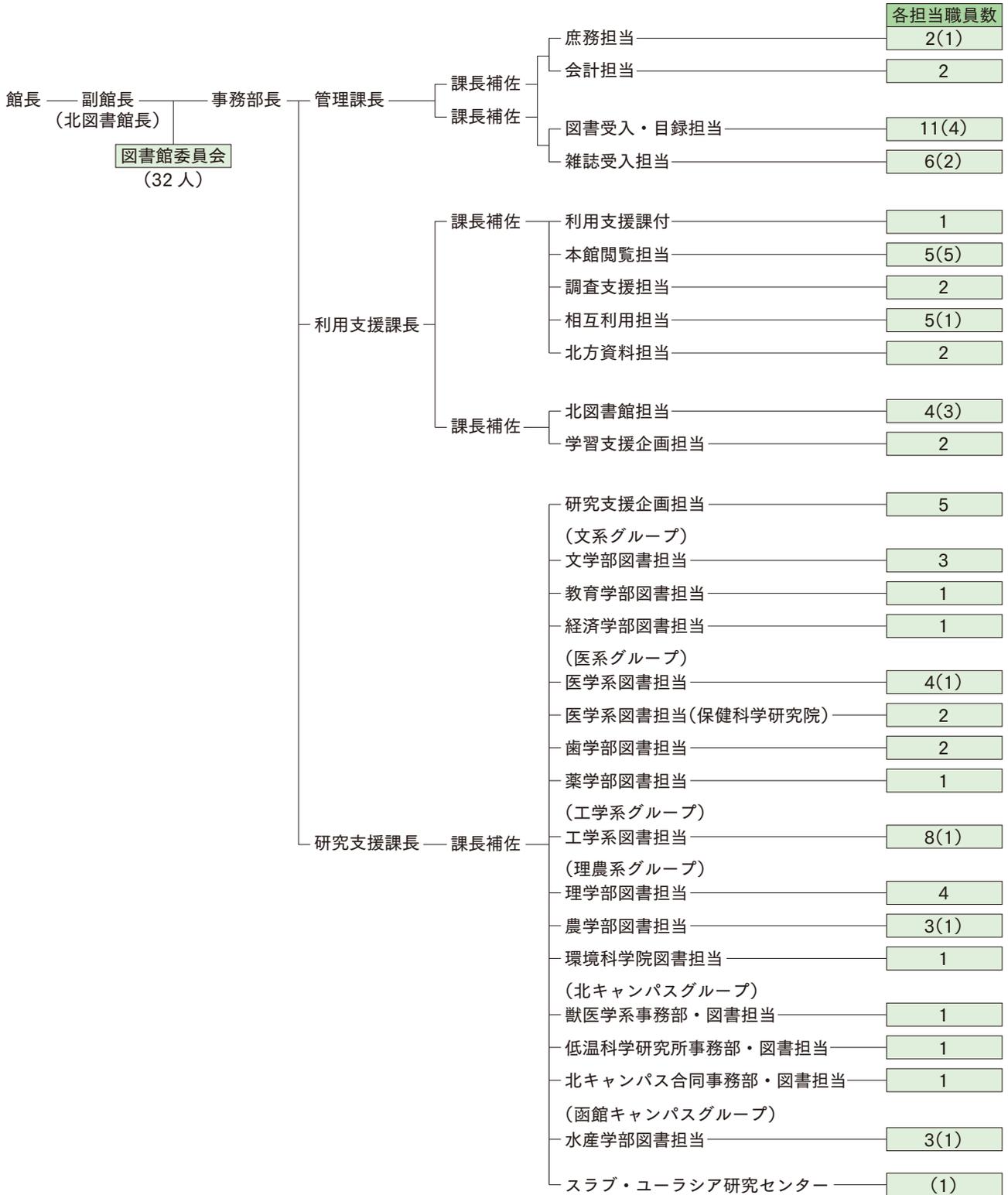
図書館委員会名簿

令和3年度図書館委員会委員名簿

令和3年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名
理事・副学長	館 長	山 本 文 彦
大学院獣医学研究院	副館長	稲 葉 睦
大学院法学研究科	教 授	野 田 耕 志
大学院水産科学研究院	教 授	澤 辺 智 雄
大学院地球環境科学研究院	准教授	藤 原 正 智
大学院理学研究院	教 授	石 川 剛 郎
大学院薬学研究院	准教授	多 留 偉 功
大学院農学研究院	准教授	尾之内 均
大学院先端生命科学研究院	教 授	相 沢 智 康
大学院教育学研究院	教 授	横 井 敏 郎
大学院メディア・コミュニケーション研究院	准教授	山 田 悦 子
大学院保健科学研究院	准教授	宮 崎 太 輔
大学院工学研究院	教 授	加美山 隆
大学院経済学研究院	教 授	韓 載 香
大学院医学研究院	教 授	大 場 雄 介
大学院歯学研究院	准教授	吉 村 善 隆
大学院獣医学研究院	准教授	小 林 篤 史
大学院文学研究院	教 授	金 沢 英 之
大学院情報科学研究院	准教授	有 田 正 志
大学院公共政策学連携研究部	准教授	村 上 裕 一
北海道大学病院	教 授	坂 本 直 哉
低温科学研究所	准教授	西 岡 純
電子科学研究所	准教授	高 野 勇 太
遺伝子病制御研究所	教 授	茂 木 文 夫
触媒科学研究所	准教授	飯 田 健 二
人獣共通感染症国際共同研究所	准教授	大 場 靖 子
スラブ・ユーラシア研究センター	教 授	田 畑 伸一郎
高等教育推進機構	教 授	亀 野 淳
附属図書館事務部	部 長	鈴 木 秀 樹
附属図書館管理課	課 長	佐 藤 初 美
附属図書館利用支援課	課 長	米 谷 昌 代
附属図書館研究支援課	課 長	鶉 澤 和 往

組織図 (令和3年4月1日現在)



※ () 内は非正規職員で外数

職名	事務部長	課長	課長補佐	係長	係員等	合計
計	1人	3人	5人	26人	57(21)人	92(21)人

※ () 内は非正規職員で外数

北海道大学附属図書館年報 2021

発行 令和3年8月

編集 北海道大学附属図書館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL : 011-706-2967 FAX : 011-747-2855

Homepage : <https://www.lib.hokudai.ac.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/hokudailibrary>

Twitter : https://twitter.com/Hokudai_Library



Homepage



Facebook



Twitter